

**船橋に備え置いてください!**

## 敦賀港の地域的情報（参考）

### 1. 敦賀港の気象・海象の特性

- ・春から秋にかけては南東寄り、冬は北西寄りの風が多い。
- ・北と南の風は年中平均して吹く傾向がある。

### 2. 敦賀港の港外避難等に関する勧告基準

#### (1) 荒天準備勧告(第1体制)

- ・台風の暴風域が12時間以内に到達されると予想される場合。
- ・暴風(雪)警報(陸上において風速20m/s以上を予想)が発表された場合(台風を除く)

- 【勧告内容】
- ① 在港船舶等は、荒天準備を行い必要に応じて直ちに運航できるように準備すること。
  - ② 工事、作業現場においては、荒天準備を行い資機材等の流出防止措置をとること。
  - ③ 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨防止のため、見張りを強化し、次の事項に留意すること。
    - a) 国際VHF(ch16)を常時聴取する等、連絡手段を確保すること。
    - b) 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。
    - c) AIS搭載義務船舶は、AISを常時作動させること。

※勢力の強い台風(中心付近の最大風速が40 m/s以上)の接近が予想される場合には、台風の影響の少ない海域に避難する船舶は十分余裕のある時期に避難を開始すること。

#### (2) 避難勧告(第2体制)

- ・台風の暴風域が6時間以内に到達されると予想される場合。
- ・暴風(雪)警報(陸上において風速25m/s以上を予想)が発表された場合(台風を除く)

- 【勧告内容】
- ① 在港中の大型船舶(500トン以上)及び危険物搭載船は、安全な水域に避難すること。
  - ② 小型船舶(大型船舶以外の船舶)は、安全な場所に避難すること。
  - ③ 流出防止措置を完了した木材や工事作業用資機材等については、厳重な警戒体制をとること。
  - ④ 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨防止のため、見張りを強化し、次の事項に留意すること。
    - a) 国際VHF(ch16)を常時聴取する等、連絡手段を確保すること。
    - b) 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。
    - c) AIS搭載義務船舶は、AISを常時作動させること。

※勢力の強い台風(中心付近の最大風速が40 m/s以上)の接近が予想される場合には、在港中の大型船舶(500トン以上)及び危険物搭載船は、原則として港外の安全な水域に避難すること。

### 3. 敦賀港内における錨泊自粛海域

- ・海事関係者の申し合わせにより、鞠山防波堤先端から0.6海里以内はフェリーや大型船の航路となっているため、錨泊は可能な限り避ける。
- ・沿岸部には定置網等の漁具が多く設置されていることから注意が必要。

### 4. 走錨が発生しやすい海域

- ・過去には台風や発達した低気圧の接近・通過により、敦賀港内で錨泊中の複数の船舶が走錨。

### 緊急連絡先

敦賀港長(敦賀海上保安部長)

0770-22-4179

 各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。